

人間行動学科 地理学コース

妖怪の行動に関する空間論的研究

—屋外の機織姫の伝承実態の

分布論的検討を通じて—

文学部 2025年度

ABA22035

おがわはると
小川晴叶

妖怪の行動に関する空間論的研究

—屋外の機織姫の伝承実態の分布論的検討を通じて—

ABA22035 小川晴叶

I はじめに.....	1
II 妖怪の行動の重要性と未開拓分野	4
1) 妖怪伝承からの実体の排除.....	4
2) 異常行動の解釈としての妖怪	7
3) 行為者＝妖怪と語られる事例の研究可能性.....	9
III 分析の準備	10
1) 分析の対象と目的	10
2) 分析方法.....	15
IV 屋外の機織姫の分布論的分析.....	15
1) 異界侵入の物語と機織姫の結びつきの検証	16
2) 妖怪発生の説の検証	25
3) 小括	31
V 考察	31
VI おわりに	42

要旨

本研究では、日本の伝承における妖怪の「行動」と「実体の有無」の関係性を、分布論的に分析する。屋外の機織姫(屋外で機を織る女性)の伝承を対象に、妖怪を怪奇現象の説明原理とする定説を全国的に検証する。その結果、怪音現象から実体ある妖怪が派生するという、伝承の発展は普遍的ではないと判明した。分析結果と織機・繊維の先行研究を踏まえると、実体ある機織姫の伝承は、屋外での機織というかつての習慣が象徴化されたものだと考察できた。

キーワード: 妖怪, 実体, 異人, 機織, 分布論